

令和3年度 第7回三郷区地域協議会

次 第

日時：令和3年11月12日(金)午後6時30分～

会場：三郷地区公民館 2階 集会室

(全体：1時間40分程度を予定)

1 開 会

2 議題等の確認

3 議題

(1) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

(2) 自主的審議事項について

「三郷地区公民館の整備について」

「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」

4 事務連絡

5 閉 会

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（三郷区）

資料No. 1

ア意見交換について

項目	第6回地域協議会で出た意見	三郷区の取組（案）
○地域住民との意見交換会について	<p>【平田伸一委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題に気付き、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要」と記載されているが、地域協議会委員の任期4年間の中で行わなければならない。 ・「日頃から協議会と諸団体との風通しをよくしておくことが必要」とあるが、地域協議会と地域の団体を比べると、地域協議会が上から目線になってしまっていて、ストレートな意見等がなかなか出てこない部分がある。 ・「他地区協議会との意見交換」について、三郷区にとってどこが適当な地区なのかよく分からない。 ・「地域住民との意見交換会」は、何を・誰と・どんな内容で協議するのかがはっきりしていない。もう少し具体的なものを考えていかなければならない。 ・4年任期の中で、ある程度のゴール。何を指すのか誰もが分かるような目標を掲げていたほうが進めやすい。 <p>【竹内会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員が地元の課題を出し、それが今の自主的審議の「春駒班」「公民館整備班」での議論になっている。それ以外にも、地域との意見交換等細かく対応すればよいが、限られた4年間の任期の中では難しい。 ・残任期の中で、具体案とか、意見交換の場を設けながら進めていくことも必要だが、現在の取り組んでいる自主的審議事項について、今後、地域住民や各町内会、各団体等との意見交換等も計画し、調整していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、取り組んでいる自主的審議事項の協議を各班で進めて行く中で、必要に応じて地域住民（団体）との意見交換を随時実施していく。 ・現在、取り組んでいる自主的審議事項以外の案件について、地域住民との意見交換会の実施にあたっては、目的、対象、目指すゴール等を協議したうえで実施する。
○その他（委員からの要望等）	なし	

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（三郷区）

イ会議運営について

項目	第6回地域協議会で出た意見	三郷区の取組（案）
○会議開催日、開催時間、回数について	<p>【全委員に開催日、開催時間について不都合があるかを確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば木曜日は避けてほしい。 ・午後6時30分より早い時間は避けてもらいたい。 <p>【平田伸一委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「毎回1時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。」とある。会長の「正副会長と事務局へ一任」との言い方はまずいと思う。いろいろなことを決めていくプロセスが大事である。 ・月1回の会議の目標時間に5分時間を伸ばせば決められることもあるかもしれない。 ・時間がないということではなく、運営の仕方をうまくコントロールして、委員が知っておかなければならないことは、そのプロセスを大切にしたい運営に心掛けてほしい。 ・そもそも、正副会長、事務局一任とはどういうことなのかを考えてほしい。 <p>【竹内会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしても会議の中で決めなくてはいけないところは、結果が出るまで十分に議論をするべきだと思っている。 ・運営方法や協議内容について、問題・課題等が出てきた際には、この会議の場で十分に議論して結果を出すような進行に心掛けていく。 ・正副会長会議で出た意見についても、「これで良いか」という確認をこの会議の場でしている。それが駄目であれば、十分話が尽きるまで論議するべきで、その時間を惜しまず運営していく。 ・委員もどんどん意見を出してほしい。答えの出る会議にしていきたい。 ・今期の委員も2年目に入って、地域の方々との接触等もあるかと思う。その辺の意見も出していただき、自主的審議の取組に限らずに活動していただくことができれば、変わってくるかと思う。 ・「正副会長に一任」ではなく、とことんここで議論して、結果を出していく形態とする形にしていく。 ・とことん議論していければ1番よいが、時間的にも許す時間帯がある。会議運営の考え方について、改めて調整して変えて行かなければならない。 	<p>【会議開催日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曜日を除く日程で開催する。 <p>【開催時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行（午後6時30分）どおりとする。 <p>【回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>【会議の運営方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この会議の場で十分に議論して、結論を出すことを基本とする。 ・とことん議論することが1番よいが、時間的にも許す時間帯がある。その場合は別日に会議を開催するなどの対応を考える。
○視察や研修の積極的な実施について	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
○会議における進行、発言の機会について	<p>【山口委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イ-2 各地域協議会における今後の取組（案）」の4つ目に記載されている「会議の進行を担う会長がすべての委員へ発言を求めると、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮」というかたちで進めていくということを委員が了承すればよい。 ・必要に応じて、会長が個々に指名されればよい。前期と比べて、今期の委員は挙手の上、発言をしている。三郷区では現状のままでよいと思う。 ・協議内容によっては、どうしても全員の委員の意見が聞きたいというものがあれば、会長は議長であるため個々に指名して進めていけばよいと思う。 	<p>【会議の進行・発言の機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の進め方でよい。 ・必要に応じて会長が個々に指名し、意見を引き出して行く。
○その他（会議等に運営に関する改善点）	<p>【平田伸一委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分科会やグループワーク等、小規模の話合いの場を適時設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり」について、三郷区では自主的審議事項のテーマを2つ決め、委員が分かれてそれぞれ協議をしている。その進め方は合理的であり、非常に結構なことである。 ・ただ、分かれることによって偏ってしまう部分がある。例えば、自分は「公民館整備」について、いろいろと思っていることもある。発言する場面もあるが、全員で考えていくことであると思う。その辺の調整をうまくしてほしい。 ・組織の中で2つに分かれる場合には、お互いに内容をきちんと分かり合えるような努力をしてほしい。 	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、取り組んでいる自主的審議事項について、各班で行われている協議内容の報告、今後とも現行どおり、全体会議の中でも議論していく。

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（三郷区）

ウ情報発信について

項目	第6回地域協議会で出た意見	三郷区の取組（案）
○発行回数について （回覧板対応含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
○掲載内容について ・委員の声 ・自主的審議の進捗状況 ・地域活動支援事業の紹介	<p>【平田伸一委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会だよりは、中身はほぼ決まったことのお知らせのような感じである。地域協議会として地域住民に問題提起をするとか、こういうことで今困っているとか、地域で議論が巻き起こるようなきっかけみたいなもの、そういう問題があると地域の方から気付いてもらえるような中身が必要な気がする。 ・中身を見ると、どうしても後追いばかりであり、募集記事等もあるが、本当にこの内容で親しみのあるものなのかわからない。まして、地域協議会は地域住民に理解されていないところが多い。 ・地域協議会は何を目的にしているのか等、目的だけを書くのではなくて、問題提起をしていくような過程の中で「何をやっているのか」とか「結果、こういうものがあつた」というのは、そういう1つの報告みたいなものをこの中で、情報を投げて地域の皆さんからボールを返してもらって、また行ったり来たりするような、そのようなかたちで地域の課題なりを掘り下げていくとか、広げていくとか、そういうものが求められているのかと思う。 ・「この地域協議会だよりで良いのだ」ということでは決してないのではないかと思う。 <p>【竹内会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷地区公民館の階段の脇に、「情報版」ということで、地域協議会の活動している状況等を掲載するため、一枠もらい情報発信も行っている。 <p>【保坂副会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会のお便りとまちづくり振興会のお便りがあり、まちづくり振興会の役目も大きいと思っている。そういう意味でどちらがどのような役割を担い、この地域にこの三郷地区における問題提起をしていくのか。それぞれ役割分担しながらやっていかなければ、地域の人たちが気づいていけない部分もあると思う。その辺を会長レベルの話し合いをしてもらいたい。 	<p>【掲載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民へ問題提起をする内容を含める。 ・地域の課題を掘り下げ、また広げていくため、地域協議会で、「やっていること」、「結果」を報告し、地域からの声を返してもらえるような仕組みを検討する。
○その他（たより作成に関する改善点）	<p>【市村委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信について、現状、地域協議会だよりは年4回の発行であり、平均すると3か月に1回しか地域住民に情報が更新されていないということになる。SNS等を利用してタイムリーに情報をあげ、地域住民からコメント等をもらうことができるような仕組みができれば、お互いに情報の更新が早くできるためよいと思う。 ・個人としてのアカウントではなく、地域協議会としてのアカウントで地域住民に情報をタイムリーに提供し、若者から情報をフィードバックされるとよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の利用は、市の検討課題

「公民館班」

－ 第6回地域協議会のまとめ－

○地域協議会として市へ意見書を出す。

○意見書の提出前にまちづくり振興会または、町内会長協議会と話し合い内容のすり合わせを行う。

○改修や改築ではなく、新築を主として意見書を作成する。ただし当座の問題として、トイレ・照明等については改修を希望する内容を盛り込む。

「春駒班」

－ 第6回地域協議会のまとめ－

○西松野木と下四ツ屋の町内会長や、松波会の人たちと意見交換をした中で、既存の松波会を中心として、組織を作ったほうがよい。

(新たな組織を作ってはどうか、との意見も出たのだがやりたい人がいなければ、新たに組織を作ったとしても、ただ組織だけで動いていくことになってしまう。踊りを踊る人を多く集めなければならない。)

○現在、小学校では、上級生が下級生に春駒を教えることを授業として取組んでいる。そのため小学生にも積極的に声をかけ、踊りの楽しさ等を伝えて、伝承方法に繋げていければよい。

○三郷地区内でも春駒のことを知らない人が大勢いるため、まずは地区内に情報を発信し春駒があることを周知して、知ってもらってはどうか。

○現在、昔から続けて踊っている人が1人だけであるため、その人がいるうちに踊りを記録映像として残し、それを伝承方法の1つの資料として残していったらどうか。

○西松野木町内会長と下四ツ屋町内会長との意見交換は大切であるとの意見や春駒を見る機会をつくり、魅力等を伝えていきたい。